

# 平成29年度第6回大人のためのブックトークを開催しました

平成 30 年 3 月 17 日 (土)、今年度最後の「大人のためのブックトーク」を開催しました。今回の小林先生は「軟」と「硬」の内容を交互に紹介。ブックトークで紹介された本にあわせて、今月発行されたばかりの先生おすすめのアイドルのフォトブックも紹介されるなど、カジュアルな会になりました。

## 小林昌廣 IAMAS 教授によるブックトーク



### <当日紹介された本>

#### 「日本の伝統」の正体

藤井青銅著 柏書房 (2017年)

北海道土産として有名な「木彫りの熊」。しかしこれは、古来からのものではなく、大正時代に尾張徳川家第19代当主徳川義親が欧州視察の際にスイスで購入した彫刻の熊を、徳川開墾場のあった北海道八雲村に持ち帰ったことがきっかけ。昔から福井に「竹人形」はあったが、「越前竹人形」という名称は、昭和40年代の小説が初出――。

「伝統」と名付けられると、古くから続いているもの、と思いがちだが、その中には最近になってから企業などの戦略的意図で名付けられたものも多くあるということを知ることができる一冊。

#### 「植民地の問題」

J-P. サルトル著 海老坂武解説

人文書院 (2000年)

ノーベル文学賞を初めて辞退した、戯曲家であり小説家でもあった哲学者サルトル。

現代では「植民地」とは言われなくなったものの、他者による迫害、弾圧、紛争等により類似した状況下に陥った人々が多数難民となっており、植民地政策は過去のものだと言うことはできない。現代でも褪せることなく、考えさせられる一冊。

#### 「地球はココです。私はコレです。」

滝沢カレン著 光文社 (2018年)

ファッション、ペット、インテリア、料理にコスメ。写真集よりも、相手をより身近に知覚することができるのがフォトブック。

あこがれの人の普段の姿を見たい。あの人がしていることを真似してみたら、自分も同じようになれるかも。そんな思いをかなえられ、マニュアル本としても楽しめる一冊。

## 岐阜県図書館 加納宏美司書によるおすすめ本の紹介



「グリニッジ天文台が選んだ絶景天体写真集」

サー・パトリック・ムーア監修 寺門和夫訳  
パイインターナショナル（2014年）

「星は周る」

野尻抱影著 平凡社（2015年）

「ゴッホ原寸美術館」

ゴッホ画 小学館（2017年）

「クローディアの秘密」

E. L. カニグズバーグ著 松永ふみ子訳  
岩波書店（2000年）



### ○感想等

- ・お二人ともすばらしいトークでした。また来ます。
- ・小林先生の冗談も入り楽しく拝聴させていただきました。
- ・とても楽しい。自分の知らない分野の本を紹介してくださってたいへん満足です。
- ・小林先生が早口だったのでついていくのに大変でしたが、どの本もとても魅力的で読んでみたい！！と思いました。どれだけ知識があればあれだけしゃべれるのかと驚愕しました。ぜひまた参加したいです。自分もブックトークしてみたくなりました。
- ・今日も楽しくお話を聞かせていただきました。毎回本当に楽しみでした。毎月開かれたら……とつい思ってしまいます。が、来年度も開催されるとのことです。うれしく思います。本年度は本当に有難うございました。

平成30年度の大人のためのブックトークは奇数月最終土曜日に開催予定です！